

特報



「ニュースあさがや」

2020年2月3日創刊第1号



杉1小移転計画地は

# 水没・火災の 危険大！

## 「震災救援所として不適切」

調査会社が2017年1月に指摘  
不都合な事実を区隠蔽か。区教委も見ぬふり—

区立杉並第一小学校(杉並区阿佐谷北)の移転を含む大規模な開発事業を区民不在で強引に進めている杉並区が、同小学校の移転先(現・河北病院敷地)は浸水や延焼の危険が高く災害時の避難所として「不適切」である——との報告を専門業者から得ていたことが発覚した。

- ・ 0.5m～1.0m杉一小の敷地全体が浸水、震災救援所として不適切。
- ・ 杉一小の木造密集地移転で、震災火災時、延焼・類焼の恐れ。
- ・ 大規模な地震発生時の震災救援所避難者の建物安全確認までの待機場所は校庭となる。

(株)佐藤総合設計が区の依頼を受けて2017年1月に作成した報告書「阿佐ヶ谷北東地区大規模敷地活用に関する調査業務委託」より「杉並第一小学校移転建替え計画：検討比較表」(部分)。移転案の用地は「震災救援所として不適切」だと指摘している。

(1面より) 問題の報告は「阿佐ヶ谷駅北東地区大規模敷地活用に関する調査業務委託」と題する報告書。杉1小の建て替え用地について、A案「現地建て替え」とB案「河北病院敷地に移転して建て替え」について、それぞれ利点と欠点を検討・評価している。区の発注(2016年12月6日、随意契約161万円)により、佐藤総合設計が2017年1月に作成、提出した。

同報告書(佐藤報告書)は、B案(移転案)について

「0.5m~1.0mの敷地全体が浸水、震災救援所として不適切。」

「杉1小の木造密集地移転で、震災火災時、延焼・類焼の恐れ。」

などと指摘している。

一方、A案(現地建て替え案)は、震災避難所として「安全性高」と評価している。

安全面からみれば圧倒的にA案にすべきだ。ところが、なぜか区はB案を採用した。その経緯と理由は明らかにされていない。

当初現地建て替えの方針だった杉1小の改築計画は、唐突に河北病院敷地への移転計画へと変わった。その経緯は不可解というほかない。

区は当初、現地建て替え(後にA案と呼ばれることになる)の方針で計画を進めていた。2016年8月4日、基本設計を佐藤総合計画に約6500万円で発注(後に5500万円に減額)、翌年3月に基本が完成し、実施設計・工事へと進む予定だった。しかし、基本設計作業の途中で計画は突如として凍結され、病院敷地に移転させる案(B案)の検討を開始する。そして2017年5月、区はB案への変更を正式に決定、多くの区民の不信と反発を買うことになった。


現地建て替え案(A案)の凍結後、区は住民や保護者向けの説明会や意見交換会を何度も行った。その際、浸水被害を指摘する声が出たが、「震災避難所として不適切」と専門業者に指摘された事実を、区は決して明らかにしようとはしなかった。議会ですら報告書の存在と内容を説明していない。不都合な事実を意図的に隠した疑いがある。

※ツミツミ絶滅危惧種の鳥  
あながさびすぶつてん

川柳  
ツミツミくん  
ツミツミ

あなたウソ  
ついでにうでしよ  
鳥は何でも  
知っている  
(ツミツミちゃん)

川柳がシユ〜中  
575でなくともOK!



#### 編集部より

市民が参加してつくる地域問題に特化したチラシ型ジャーナリズムをめざして「ニュースあさがや」を創刊しました。当面は月2回(努力目標)の発行予定です。みなさまの応援をお待ちしております。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。(三宅)

#### 区役所情報

2月12日午前10時から杉並区議会第1回定例会が始まります。本会議一般質問は12日~14日、17日~18日の予定です。  
・杉並区議会事務局(代表03-3312-2111)

ご意見、お問い合わせ、情報提供等は、「ニュースあさがや」編集部  
(スギナミジャーナル・三宅勝久 miyakekatuhisa@tutanota.com まで。